

第一生命グループのネットゼロ移行計画について (2023年12月)

Dai-ichi Life International (Europe) Limited
General Manager – Senior Sustainability Specialist
星原 侑希



Dai-ichi Life
Group

GFANZの全体像と第一生命が参加する組織



議長 (Mark Carney氏、Michael Bloomberg氏)
副議長 (Mary Schapiro氏)

プリンシパルズグループ

- ▶ 戦略的方向性と優先順位を設定し、進捗監視

By your side, for life

DAI-ICHI LIFE

Dai-ichi Life Group

ステアリンググループ

- ▶ プリンシパルズグループを補佐

By your side, for life

DAI-ICHI LIFE

Dai-ichi Life Group

作業部会（複数あり）

- ▶ ガイダンス作成等、具体的な作業に携わる

By your side, for life

DAI-ICHI LIFE

Dai-ichi Life Group

活動例 **金融機関の「ネットゼロ移行計画」に関する提言とガイダンス発行**

事務局

その他の
地域ネットワーク等

APACネットワーク

- ▶ APAC地域のネットゼロ移行の加速を支援

日本支部

By your side, for life

DAI-ICHI LIFE

Dai-ichi Life Group

- ▶ 国内金融機関と関係省庁・提携企業の連携を支え、日本のネットゼロ移行加速を支援
- ▶ コンサルテーショングループの初代議長に稲垣(弊社社長)が就任

サブセクターアライアンス

By your side, for life
DAI-ICHI LIFE
Dai-ichi Life Group

**Net-Zero
Asset Owner
Alliance**

**Net Zero
Asset Managers
Initiative**

**Net-Zero
Banking
Alliance**

**Net-Zero
Insurance
Alliance**

...

第一生命グループが今年8月に公表したネットゼロ移行計画

News Release

第一生命ホールディングス株式会社
〒100-8411 東京都千代田区有楽町 1-13-1
Dai-ichi Life Holdings, Inc.
13-1, Yurakucho 1-chome, Chiyoda-ku,
Tokyo 100-8411, Japan
<http://www.dai-ichi-life-hd.com>



2023 年 8 月 31 日

「ネットゼロ移行計画」の公表について

第一生命ホールディングス株式会社(代表取締役社長 CEO: 菊田 徹也、以下「当社」)は、気候変動対応をより統合的・実効的に推進するため、「ネットゼロ移行計画」を策定しましたので、お知らせします。

当社グループでは、グループ全体の事業活動を通じて排出する温室効果ガスを 2040 年度までに、国内中核事業会社である第一生命保険株式会社(以下「第一生命」)のサプライチェーンと運用ポートフォリオの温室効果ガスを 2050 年度までに、それぞれネットゼロとすることを宣言しています。本移行計画では、第一生命を主体として、これらの目標達成に向けて当社グループが取り組んでいること、今後取り組もうと考えていることの行動計画を掲載しています。なお、策定にあたっては、第一生命が参画するグローバル・イニシアティブである GFANZ¹のガイダンス²等を参照しました。

当社グループは、本移行計画の策定・公表により、

- ① 温室効果ガス削減のために私たちがこれまで表明してきた取組みを加速していきたい
- ② 目指すべき持続可能な社会への道についての私たちの考え方を、投資先を含むステークホルダーの皆さまにお伝えし、実効的な対話に基づき、連携・協働していきたい
- ③ 持続可能な社会に向けてグループ社員全員が意識を共有し、より一体感をもって取り組んでいきたいと考えています。

当社グループは、「一生涯のパートナー」として、すべての人々の well-being に貢献し、社会とともに未来を築く存在でありたいと考えています。これからも持続可能な社会の実現に向けて、地球環境、地域・社会の課題解決につながる価値をお届けすることを目指します。

■「ネットゼロ移行計画」はこちらの URL からご覧いただけます。

<https://www.dai-ichi-life-hd.com/sustainability/environment/nztransitionplan.html>

■第一生命ホールディングス統合報告書 2023 (気候変動への取組み等は、P.63~72 をご覧ください。)

https://www.dai-ichi-life-hd.com/investor/library/annual_report/2023/pdf/index_001.pdf

ネットゼロ移行計画

第一生命ホールディングス株式会社
2023年8月



<https://www.dai-ichi-life-hd.com/sustainability/environment/nztransitionplan.html>

第一生命グループのネットゼロ移行計画の目次

Foundation および 指標と目標

- | | | |
|---|---------------------|---|
| 1 | イントロダクション | <ul style="list-style-type: none">• CEOメッセージ• ネットゼロ移行計画とは• 移行計画の位置付け• 移行計画の概要 |
| 2 | 目的と優先課題および関連する指標と目標 | <ul style="list-style-type: none">• 移行計画の目的• 排出量の構成・内訳• ロードマップ• 指標と目標• 取組実績と今後の優先課題 |

戦略

- | | | |
|---|--------------|---|
| 3 | 機関投資家としての取組み | <ul style="list-style-type: none">• 戦略の全体像• インプリメンテーション戦略• エンゲージメント戦略 |
| 4 | 事業会社としての取組み | <ul style="list-style-type: none">• インプリメンテーション戦略 |

ガバナンス

- | | | |
|---|-------|---|
| 5 | ガバナンス | <ul style="list-style-type: none">• 役割と責任および報酬• スキルと企業文化 |
|---|-------|---|

付録

- 用語集

グループ経営戦略におけるネットゼロ移行計画の位置づけ

グループビジョン

第一生命グループ グループビジョン
Protect and improve the well-being of all
すべての人々の幸せを守り、高める

あるべき未来

将来世代を含む
すべての人々の幸せ

100年後を見据えた持続的社会的実現
～人々の幸せ実現の大前提～

中期経営計画
(2021-2023)

Re-connect 2023

海外事業戦略

国内事業戦略

財務・資本戦略

重要課題を
踏まえた
戦略遂行

保障

健康・医療

4つの体験価値に関する
戦略遂行資産形成・
承継

つながり・絆

ネットゼロ
移行計画

サステナビリティ取組み

事業活動の
大前提
(重要課題)

地球環境課題

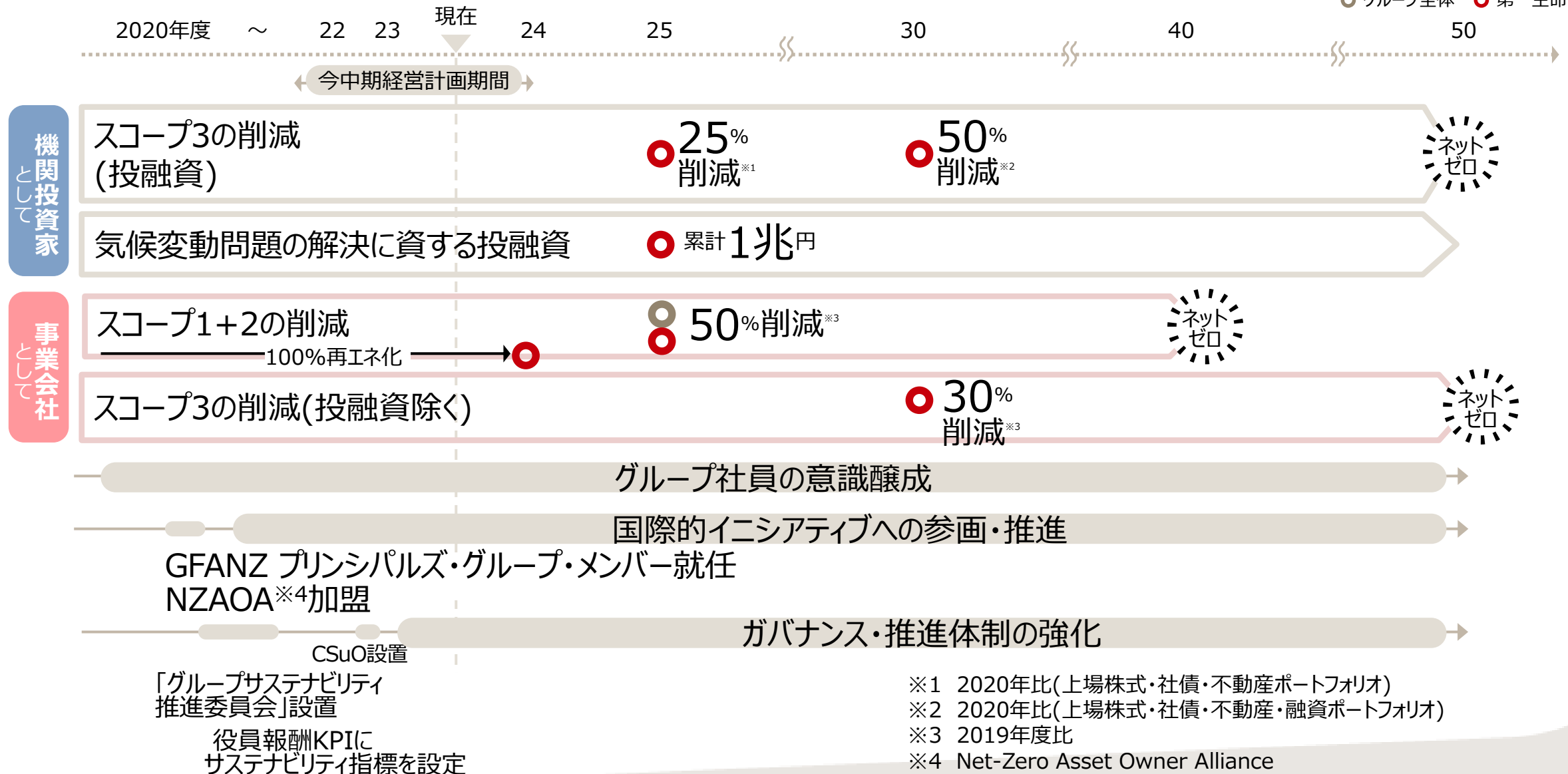
地域・社会に関する
重要課題社員の
well-being

気候変動問題

第一生命グループのネットゼロ実現に向けたロードマップ



● グループ全体 ● 第一生命



2022年度の取組実績と今後に向けた優先課題

セクション

中長期目標

今後に向けた優先課題の例

運用ポートフォリオのネットゼロ実現と 投融資先企業の移行支援

GHG排出量2025年25%削減
(上場株式・社債・不動産、2020年対比)

気候変動問題ソリューション投融資
2024年度累計投融資金額1兆円

投融資によるポジティブ・インパクト創出
2024年度GHG排出削減貢献量150万トン

投融資先・外部イニシアティブとのエンゲージメント

- ・ エンゲージメントやトランジション・ファイナンスを通じた投融資先企業の脱炭素化取組みの継続的なサポート
- ・ 優良な投資候補案件の探索・選定の強化
- ・ GHG排出削減貢献量の算定根拠となる情報開示の改善に向けた投融資先へのエンゲージメント強化
- ・ 投融資先へのエンゲージメントの実効性向上
(e.g. 業界特性や個社状況に応じた適切なアプローチ手法の検討)

事業活動におけるネットゼロ実現*

スコープ1 + 2排出量の2025年度50%削減
(2019年度対比)

スコープ3排出量の2030年度30%削減
(2019年度対比)

- ・ 長期的に安定調達可能な再生可能エネルギー調達手段への切替えの検討
- ・ CO2排出量算定の精緻化

ネットゼロ実現に向けた基盤強化

ガバナンス・推進体制の強化

グループ社員の意識醸成に向けた取組みと
業界における連携強化

- ・ 気候変動対応に関する監督体制の強化
(e.g. 取締役の関与のあり方)
- ・ グループ社員の意識醸成に向けた取組みの強化
- ・ GFANZ等外部イニシアティブとの協働による移行計画の普及

* : GFANZのネットゼロ移行計画レポートでは、Financed Emissionに焦点を当てていますが、金融機関が事業活動における排出量を管理することも推奨されています。

2022年度の取組実績と今後に向けた優先課題

Dai-ichi Life
Holdings

ネットゼロ移行計画

2

目的と優先課題および
関連する指標と目標

取組実績と今後の優先課題

2022年度の取組実績と 今後に向けた優先課題 (機関投資家として) 1/2

第一生命では、機関投資家として、気候変動問題の解決に資する投融資の拡大や、エンゲージメントを通じた投融資先企業の脱炭素社会への移行に向けた取組みを後押ししています。GHG排出量計測・目標設定対象の見直しや排出量削減手法の高度化等も継続しながら、運用ポートフォリオのネットゼロ実現を目指します。

13

グループ全体

第一生命

機関投資家として

事業会社として

運用ポートフォリオのネットゼロ実現と投融資先企業の移行支援

GHG排出量2025年25%削減 (上場株式・社債・不動産、2020年対比)

2022年度取組み | P.19▶

- ✓ 2020年比16%削減(約450万トンCO₂e)
- ✓ 2030年中間削減目標を新たに設定(2020年比▲50%)
- ✓ 新中間削減目標の対象アセットに融資を追加

今後に向けた優先課題

- エンゲージメントやトランジション・ファイナンスを通じた投融資先企業の脱炭素化取組みの継続的なサポート
- 適切なGHG排出量データ管理体制の構築(GHG排出量データの取得・分析サイクルの早期化、排出量推移の将来シミュレーション等)
- GHG排出量計測・目標設定の対象資産拡大
- GHG排出削減に向けたアプローチ手法の検討(セクター別のアプローチ手法や、アセット特性に応じた削減手法の検討等)

気候変動問題ソリューション投融資 2024年度累計投融資金額1兆円

2022年度取組み | P.25,28▶

- ✓ 2022年度1,900億円実行、累計7,100億円達成
- ✓ トランジション・ファイナンスに関する取組方針の制定

今後に向けた優先課題

- 優良な投資候補案件の探索・選定の強化
- 既存投融資先の移行計画進捗状況のフォローアップ
- 2025年度以降の投融資における目標設定のあり方の検討
- GFANZの4つのトランジション・ファイナンス戦略 | P.29▶ 等も考慮したトランジション・ファイナンスにおける投融資判断の考え方・投融資後のフォローアップ方法の整理、開示方法の検討

2022年度の取組実績と今後に向けた優先課題

Dai-ichi Life
Holdings

ネットゼロ移行計画

2

目的と優先課題および
関連する指標と目標

取組実績と今後の優先課題

2022年度の取組実績と 今後に向けた優先課題 (事業会社として)

第一生命では、事業活動におけるネットゼロ実現に向けて、省エネルギー化および使用電力の再生可能エネルギー化等に取り組んでいます。また、CO₂排出量算定の精緻化により、サプライチェーン上の削減余力の洗い出しも進めています。

グループ全体

第一生命

機関投資家として

事業会社として

事業活動におけるネットゼロ実現

スコープ1+2排出量の2025年度50%削減 (2019年度対比)

2022年度取組み | P.40▶

- ✓ 電力調達における再生可能エネルギー割合100%の達成
- ✓ 省エネルギー取組みによる電力消費の低減
- ✓ 省エネルギー効果の高い設備の導入

今後に向けた優先課題

- 長期的に安定調達可能な再生可能エネルギー調達手段への切替えの検討
- 炭素吸収・除去等、残余排出量に対する対応策の研究
- CO₂排出量算定の精緻化(第一生命生涯設計デザイナー等の私有自動車からの排出量、社用車からの排出量、業務委託に係る排出量等)[※]

スコープ3排出量の2030年度30%削減 (2019年度対比)

2022年度取組み | P.42▶

- ✓ 業務における紙資源使用量の削減(営業用端末の活用推進、提案書やマニュアルのデジタル化等)
- ✓ 社員の行動変容の促進(紙使用量の見える化、イベントの開催等)

今後に向けた優先課題

- 社員の意識醸成に向けた取組みの強化
- 社内物流の削減
- CO₂排出量算定の精緻化(第一生命生涯設計デザイナー等の私有自動車からの排出量、社用車からの排出量、業務委託に係る排出量等)[※]

※ スコープ1,2,3のいずれに分類するかも含めて検討中

投融資を通じたネットゼロへの取組み

インプリメンテーション戦略

排出量削減目標
の対象資産拡大
および
排出量の分析

投融資を通じた
脱炭素への移行・
環境イノベーション創出の
後押し

- 運用ポートフォリオの排出量削減目標の対象資産を、従前から取り組んできた**上場株式・社債・不動産**から**融資**まで拡大
- 投融資先企業のGHG排出量をWACI※等の複数の指標を活用して定期的に測定・分析を行い、その結果をエンゲージメント活動や投資判断に反映(**ESGインテグレーション**)
- 気候変動問題の解決に資する**気候変動ソリューション投融資**を積極的に実行し、2024年度までに**累計1兆円**を目指す
- 投融資による**ポジティブ・インパクトの創出**について、2024年度までに**GHG排出削減貢献量150万トンCO₂e**を目指す
- **トランジション・ファイナンス**に関する**取組方針を策定**、脱炭素への移行に向けた資金供給を積極化
- **ネガティブ・スクリーニング**により、ファイナンス対象から化石燃料による新規の火力発電所関連事業等を除外

エンゲージメント戦略

エンゲージメントを
通じた投融資先企業の
取組みの後押し

グローバル
金融イニシアティブを
通じた意見発信・
ルールメイキング

- 第一生命の運用ポートフォリオの**GHG排出量上位約50社**に対し、**GHG排出削減に関する目標設定水準の引き上げや取組みの実効性向上などを促進**
- Climate Action 100+や生保協会などの**協働エンゲージメント**を通じて、投資家としての影響力を発揮しつつ、投資先企業の取組みを後押し
- 金融機関の脱炭素取組みを推進する**グローバル・イニシアティブ**である**GFANZ**に参画
- GFANZをリードする**プリンシパルズグループメンバーの一員**となり、傘下の作業部会に参加して**社会の脱炭素化に対する金融機関としての役割の検討やルール・メイキングに積極的に関与**するなど、取組みを推進



Dai-ichi Life Holdings

ネットゼロ移行計画

3

機関投資家としての取組み
インプリメンテーション戦略
顧客と投融資先企業

排出量実績とセクター別内訳

第一生命では、2050年ネットゼロのポートフォリオ構築に向けて、2025年3月期に▲25%(上場株、社債、不動産)、2030年3月期に▲50%(上場株、社債、不動産、融資)の中間目標を掲げ、2022年3月期に▲16%削減と着実に取組みを進めています。

上場株式・社債の投資ポートフォリオのうち、相対的に排出量の多い電力や鉄鋼等のセクターを含む、排出量上位50社を重点エンゲージメント先と認識し、積極的にエンゲージメントを実施しています。

19

GHG排出量実績



※1 上場株式・社債・不動産ポートフォリオにおけるスコープ1、スコープ2の合計値。上場株式、社債についてはMSCI ESG Research LLCデータより第一生命にて作成。不動産については第一生命にて集計の上作成。使用ベンダーをS&P Trucost LimitedからMSCI ESG Research LLCに変更にしたことに伴い2020年、2021年におけるGHG排出量実績を修正。なお、S&P Trucost Limitedを使用した場合の2022年のGHG排出量は約470万tCO₂e(2020年は約602万tCO₂e)

※2 NZAOAプロトコルに従い、2030年を目標年とする中間削減目標を設定。中間削減目標には、対象資産に融資を追加。

グループ全体

第一生命

第一生命 セクター別内訳

2050年
ネットゼロ運用
ポートフォリオ全体

Dai-ichi Life
Holdings

ネットゼロ移行計画

3

機関投資家としての取組み
インプリメンテーション戦略
企業活動と意思決定

ESGインテグレーション の手法

第一生命では、各アセットの流動性や特性を踏まえ、アセット毎に最適なESGインテグレーションを行い、投資判断に適切に反映させています。

ESGアナリストは、様々なESG課題から重要テーマを選定し、セクター横断的に調査・分析を実施。企業毎に総合評価をスコアリング(ESGスコアリング)してエクイティアナリストやクレジットアナリストへ共有し、各アセットのアナリストは個別企業の評価に反映しています。

グループ全体

第一生命

セクター横断的な評価

ESGアナリスト

重要なESGテーマを選定・セクター横断的に調査・分析

様々なESG課題 気候変動 人権 ガバナンス etc...

ESGスコアリング

個別企業の社内ランク

エクイティアナリスト・クレジットアナリスト

個別企業の調査・分析

個別企業ごとの評価

主なESG課題と評価の視点

E

気候変動 | 気候変動リスクと機会、GHG削減計画の有無と進捗状況

自然資本 | 森林破壊、海洋汚染、廃プラスチックなどによる影響

S

人権 | サプライチェーンを含めた人権リスクへの対応状況や、人権デュー・ディリジェンスにより特定された人権リスクへの対応状況

ダイバーシティ | 管理職・役員の女性比率等

G

ガバナンス体制 | 社外取締役の機能発揮、指名・報酬委員会の適切な関与・助言

統合的な情報開示 | 財務情報と非財務情報の統合的な開示状況

🔍 第一生命 移行計画



🔍 検索

💬 チャット

🏢 職場

🖼️ 画像

🎥 動画

📍 地図

📰 ニュース

🛒 ショッピング



約 20,700,000 件の結果



🔒 第一生命ホールディングス株式会社

<https://www.dai-ichi-life-hd.com/sustainability/environment/nz...> ▼

ネットゼロ移行計画 | 第一生命ホールディングス株式会社



🌐 ネットゼロ移行計画とは、自社の活動に関連して生じる温室効果ガスの排出を2050年までにネットゼロにすること、すなわち、脱炭素社会の実現に向けた企業の行動計画です。

ご清聴ありがとうございました